

令和 5 年 6 月 17 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H00516

研究課題名(和文) 仏教学デジタル知識基盤の継承と発展

研究課題名(英文) Inheritance and development of the digital knowledge base of Buddhist studies

研究代表者

下田 正弘 (SHIMODA, MASAHIRO)

東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授

研究者番号：50272448

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、人文諸分野が参照可能なデジタル知識基盤を仏教学分野から提供し、デジタル時代の人文学の進路を示すことを目的とした。この成果として、第一にテキストについて国際標準規格TEI Guidelinesに東アジア・日本テキストの特性を反映させ、第二に画像についてIIIFを用いてテキストと画像双方の照合的研究基盤を整備し、第三に文字について国際標準化機構ISO/SC2のリエゾンメンバーとして漢字コード化を学術界から提案する仕組みを実現し、第四にDH2022国際会議を初めて日本で開催し、日本の人文学の諸活動を国際DHのネットワークの中心に位置づけ、人文学遂行のための学術環境を格段に向上させた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在急速に展開しつつある情報通信技術革命は、人類の文化的遺産の保存、研究、継承という、長期にわたって人文学が主題としてきた研究の仕組みを劇的に転換しつつある。この転換に沿って、人文学の対象とする膨大な資料、研究成果、発信と交換の方法を、デジタル化することは、人文学の遂行のために重要な課題であるとともに、文化遺産を次世代に継承してゆくために必須の課題である。本研究はこの課題を解決するため、日本の人文学研究の環境を、国際標準に沿った学術環境を提供しようとするものである。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research was to provide a digital knowledge base from the field of Buddhist studies that can be referenced by various disciplines in the humanities and to show the way forward for the humanities in the digital age. As a result of this work, first, we reflected the characteristics of East Asian and Japanese text structures in the TEI Guidelines for texts, second, we developed a research infrastructure for collating both text and images using IIIF for images, third, as a liaison member of the International Organization for Standardization (ISO/SC2) for characters, we proposed a mechanism for encoding Chinese characters from the academic world, and fourth, the DH international conference symbolized by DH2022 was held in Japan for the first time, placing Japanese humanities activities at the center of the international DH network and significantly improving the academic environment for conducting humanities research.

研究分野：人文学

キーワード：仏教学 人文情報学 Digital Humanities TEI IIIF Unicode

## 1. 研究開始当初の背景

(1)日本の人文学は、欧米のみならず中国や韓国に比しても学術基盤のデジタル化が遅れを取り、その移行のためにいかなる要件を整えなければならないかについても認識が及んでいなかった。この状況を改善するために、研究基盤のデジタル化を先進的に進めてきた仏教学分野から適切な発信をする必要が、強く認識されていた。

(2)人文学が研究対象としている多様で龐大な資料について、その形態と特質にそってデジタル化するためのガイドラインと規格が、欧米の人文情報学界や関連する会議体において、国際標準として構築され、世界的に共有されつつあることが判明した。ところがこの事実は、日本においてはほとんど顧みられず、実情が不明なままであったため、その実態を調査するとともに、日本もこれらの規格制定に関与することがきわめて重要であると認識された。

(3)上述(2)の問題は、欧米の一般の人文学界全体においても認識が不十分である。この状態を改善するためには、国際人文情報学界の動向を取り入れ、学術基盤全体のデジタル化を図るモデルとなる研究の提示が求められていた。日本においてこれを遂行できる場所は限られており、研究代表者が責任を務めて遂行してきた SAT データベースは、その数少ない候補の一つである。以上の状況に鑑みて、本研究の遂行を決意した。

## 2. 研究の目的

(1)本研究は「人文学がデジタル時代にいかに遂行されるか」という次世代の人文学にとって重要なテーマについて、人文学諸分野が参照可能なデジタル知識基盤を仏教学から提供し、人文学全体が共有しうる統合的デジタル研究環境を構築する。

(2)この環境の構築過程では、人文学の研究基盤の核心的要素である文字、画像、テキストについて、その形態に内在する問題を分析し、それぞれの国際標準規格である Unicode, International Image Interoperability Framework ( IIF ), Text Encoding Initiative Guidelines ( TEI-G ) の構築に批判的に関わるとともに、東アジア・日本研究の立場から改善案を提案する。

(3)上述の(2)の成果を踏まえて国際連携によって仏教学の伝統的知識基盤をデジタル媒体に転換し、人文学全体のモデルとして提示する。

## 3. 研究の方法

(1)人文学におけるテキスト、画像、事物、行為等の研究対象の相違と、思想、言語、歴史、行動科学等の方法の相違を考慮に入れ、両者の関係から生まれる知識の多様性を、デジタル技術を通し効果的に保存し利用する多層的概念モデルを理論として構築し、つぎに大蔵経データベース ( SAT DB ) に実装する。

(2)人文学の方法論の相違については、研究代表者の仏教学をめぐる研究方法についての議論を批判的に発展させる。人文学の基盤資料を構成する要素である文字、テキスト、画像については、Unicode, TEI-G, IIF の委員会に参画してその問題点を当研究プロジェクトに持ち寄って検討し、当該の委員会にフィードバックする。

(3)国際連携による仏教学知識基盤のデジタル媒体転換とその発展については、日本とフランスの学士院における百年に及ぶ人文学分野の共同事業であるフランス語仏教辞典『法寶義林』Hobogirin の目録部の知識基盤化を図る。

#### 4. 研究成果

(1)文字の国際規格における業績としては、国際標準規格である Unicode 及び ISO/IEC 10646 において大正新脩大蔵経外字登録を実現し、Unicode13.0 における大正新脩大蔵経使用漢字 (UCS 外字) 329 種の新規登録をなした。文字コードの確保は文化保存のために不可欠な要素であるものの、関係政府機関の関与によってのみ決定されてきた。本科研では、世界の学术界ではじめてこの決定に参画し、その意義を東大においてプレスリリースした。

(2)画像に関わる業績としては、高精細画像を Web で共有するための国際標準規格 IIIF の利用拡大のために日本の各地でセミナー開催するとともに、IIIF において実装が不十分な動画アノテーション表示を可能とするソフトウェアを共同開発した。

(3)テキストに関する成果としては、人文学テキスト資料を共有国際ガイドライン Text Encoding Initiative (TEI) のセミナーを開き、人文学のデジタル環境整備を進めることができた。具体的には TEI 協会内部に設けた東アジア / 日本専門分科会を通しアジアから初の提言として TEI-G の改訂をなしえた。

(4)国際連携による仏教学知識基盤のデジタル媒体転換とその発展については、日本とフランスの学士院における百年に及ぶ人文学分野の共同事業であるフランス語仏教辞典『法寶義林』Hobogirin の目録部のデジタル化を実現し、科研主催の国際シンポジウム(2021年11月27日、東京大学)及びフランス学士院における公開講演会(2022年2月4日、Seance publique de l'Academie des Inscriptions et Belles-Lettres)において公開した。

(5)さらに特筆すべき成果として、デジタル人文学における世界の中心学会である Alliance of Digital Humanities Organizations の世界学会会議 Digital Humanities 2022 を、アジアで初めて日本に招致して開催したことが挙げられる。2022年7月25日~29日の5日間にわたり、世界44カ国から、700人の参加者を集め、本分野最先端の300超の発表が、本学会史上、初めて全面オンラインで開催され、成功裏に終わったことに対して、海外の諸方面から高い評価が与えられた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計108件（うち査読付論文 51件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 29件）

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 巻 13:33
2. 論文標題 Socrates and the Sophists: Reconsidering the History of Criticisms of the Sophists	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Humanities 2022	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 納富信留	4. 巻 0
2. 論文標題 田辺元とギリシア哲学 プラトン弁証法としての「種の論理」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 危機の時代と田辺哲学 田辺元没後60周年記念論集	6. 最初と最後の頁 160-182
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 納富信留	4. 巻 146/809
2. 論文標題 世界哲学における分析哲学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 哲学雑誌	6. 最初と最後の頁 133-153
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 納富信留	4. 巻 2022-8
2. 論文標題 つくる哲学に向けて ソフィストと哲学者の間再考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 112-121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 巻 0
2. 論文標題 Homonymy and Similarity in Plato's Parmenides	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Plato's Parmenides: Selected Papers of the Twelfth Symposium Platonicum	6. 最初と最後の頁 211-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 2
2. 論文標題 ブツダの身心の觀察 菩提樹下の瞑想は観であったのかー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 サンガジャパンプラス	6. 最初と最後の頁 246-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 15
2. 論文標題 瞑想でたどる仏教～心と体を觀察する～	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本文化研究	6. 最初と最後の頁 25-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋晃一	4. 巻 71-1
2. 論文標題 『菩薩地』 「住品」における八タヨーガと思摂	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 370-364
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川 潤、大向 一輝、中村 覚、北本 朝展	4. 巻 32-4
2. 論文標題 知識グラフを用いた歴史資料の構造化：TEIとRDFの活用	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報知識学会誌	6. 最初と最後の頁 428-431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齋藤希史	4. 巻 41-2
2. 論文標題 訓読体：近世から近代へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本語学	6. 最初と最後の頁 156-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田祐菜、永崎研宣、大向一輝	4. 巻 3-1
2. 論文標題 近代短歌全文テキストデータベースの構築	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 デジタル・ヒューマニティーズ	6. 最初と最後の頁 17-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Okada, Satoru Nakamura and Kiyonori Nagasaki	4. 巻 14
2. 論文標題 Rubi as a Text: A Note on the Ruby Gloss Encoding	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of the Text Encoding Initiative	6. 最初と最後の頁 0-0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/jtei.4403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 塩井祥子、永崎研宣	4. 巻 2022
2. 論文標題 日本近代文学における自筆資料の構造的記述の可能性 江戸川乱歩自筆資料を手がかりとして	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣、中村覚、田中真、西河雅人、林龍樹、井上慶淳	4. 巻 2022
2. 論文標題 構造化テキストデータの活用における現状と課題 TEI に準拠した『浄土真宗聖典全書』全文検索システムの開発を通じて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡千文、永崎研宣、清水元広、下田正弘	4. 巻 2022
2. 論文標題 人文学におけるオープン・サイテーションの可能性 - インド学仏教学分野を事例として -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 257-262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中原真祐子、永崎研宣	4. 巻 2022
2. 論文標題 テキストマイニングから探る「大正期ベルクソンブーム」の内実	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 295-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塩井祥子、永崎研宣	4. 巻 2022-CH-130、no. 4
2. 論文標題 TEIガイドラインに基づいた江戸川乱歩『二銭銅貨』草稿のマークアップの提案	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ(CH)	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 片倉峻平、永崎研宣、大向一輝	4. 巻 32(4)
2. 論文標題 中国出土資料古漢字情報TEI化への検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報知識学会誌	6. 最初と最後の頁 410-413
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2964/jsik_2022_036	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菊池信彦、永崎研宣、乾善彦、海野圭介、小川歩美、吉賀夏子	4. 巻 2023-CH-131、no. 8
2. 論文標題 和歌のXML/TEIデータ分析のための自主学習環境の構築	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ(CH)	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 下田正弘	4. 巻 61-1
2. 論文標題 聖典としての仏教 法華経にみる三宝の歴史性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋学術研究	6. 最初と最後の頁 221-247
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 下田正弘	4. 巻 86
2. 論文標題 セッションNo. 6の発表に対するコメント 三宝の出現形態と經典言説の歴史的展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本仏教学会年報	6. 最初と最後の頁 296-301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chifumi Nishioka, Kiyonori Nagasaki	4. 巻 36
2. 論文標題 Understanding IIIF image usage based on server log analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	6. 最初と最後の頁 ii210-ii221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/llc/fqab040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本雄太, 金甫榮, 中村寛, 小風尚樹, 井上さやか, 茂原暢, 永崎研宣	4. 巻 2021
2. 論文標題 写真資料のクラウドアノテーションシステムの開発: 『渋沢栄一伝記資料』別巻第10を事例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 132-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王一凡, 渡邊要一郎, 永崎研宣, 下田正弘	4. 巻 2021
2. 論文標題 『續一切経音義』からみる漢文文献のTEI マークアップの課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 234-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 左藤仁宏, 渡邊要一郎, 永崎研宣, 下田正弘	4. 巻 2021
2. 論文標題 仏教思想の概念体系の記述手法としてのTEI マークアップの現状と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 288-293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小風尚樹, 中村覚, 永崎研宣, 渡辺美紗子, 戸村美月, 小風綾乃, 清武雄二, 後藤真, 小倉慈司	4. 巻 2021
2. 論文標題 相互運用性を高めた日本歴史資料データ実装: 『延喜式』TEI とIIIF を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 294-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川潤, 永崎研宣, 大向一輝	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 一次史料における時間的コンテキストを含む社会関係記述モデルの提案と実践	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 258-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216232	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉賀夏子, 堀良彰, 只木進一, 永崎研宣, 伊藤昭弘	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 郷土に残存する江戸期古記録の機械可読化を目的とした市民参加および機械学習による固有表現抽出	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 310-323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 大向一輝, 下田正弘	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 仏教学のためのデジタル学術編集システムの構築に向けたモデルの提案と実装	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 324-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大月希望, 大向一輝, 永崎研宣, 佐倉統	4. 巻 2021-CH-126, no. 6
2. 論文標題 デジタル時代における多様な資料継承の仕組みを包括する議論モデルの提案	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊要一郎, 永崎研宣, 大向一輝, 井野雅文, 村瀬友洋, 朴賢珍, 下田正弘	4. 巻 2021-CH-128, no. 9
2. 論文標題 デジタル法実義林における研究データの共同構築	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 田村隆, 永崎研宣	4. 巻 2021-CH-128, no. 13
2. 論文標題 デジタル源氏物語 (AI画像検索版): くずし字OCRと編集距離を用いた写本・版本の比較支援システムの開発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 長野壮一, 小風尚樹	4. 巻 2021-CH-128, no. 14
2. 論文標題 人文系学部向け人文情報学/ デジタル・ヒューマニティーズ教育のためのカリキュラムについて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 69
2. 論文標題 ソフィストたちのオリムピック--文化・政治・哲学的意義--	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 99-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 巻 23
2. 論文標題 Plato, Isocrates and Epistolary Literature: Reconsidering the Seventh Letter in its contexts	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Plato Journal	6. 最初と最後の頁 67-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14195/2183-4105_23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 巻 60(3)
2. 論文標題 Images and Imagination in Plato's Republic and Sophist	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Greco-Roman Studies	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23933/jgrs.2021.60.3.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 納富信留	4. 巻 29
2. 論文標題 プラトン『パイドン』はどう読まれたか、どう読むべきか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西日本哲学会年報	6. 最初と最後の頁 41-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船山徹	4. 巻 48
2. 論文標題 中国における『梵網経』と日本への影響: 日本の重文写本『梵網経』二種	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 公益財団法人仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chikahiko Suzuki, Akira Takagishi, Asanobu Kitamoto	4. 巻 2021
2. 論文標題 Style Comparative study of Japanese medieval picture scrolls focusing on landscapes using GM Method with IIIF Curation Platform	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JADH2021	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumi Yao	4. 巻 5
2. 論文標題 Talking Wittily with an Ill-Behaved Monk: On a Reference to the *Jetvanasutra in the Mulasarvastivada Vinaya	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Buddhism, Law & Society	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 八尾 史	4. 巻 3
2. 論文標題 瞻部洲はインド亜大陸か：求法僧の記述を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 対法雑誌	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 齋藤希史	4. 巻 73
2. 論文標題 学会展望 (文学)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本中国学会報	6. 最初と最後の頁 52-53, 55-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 太造, 中村 寛, 渋谷 綾子, 大向 一輝, 井上 聡	4. 巻 2021
2. 論文標題 日本史史料を対象とした研究データ基盤整備における課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 80-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Shimoda	4. 巻 31(2)
2. 論文標題 East Asia as a Method of Research, Illustrated by an Interpretation of Japanese Edo-Period Haiku by a Western Art Historian	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought & Culture	6. 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.16893/IJBTC.2021.12.31.2.15	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Shimoda	4. 巻 31(2)
2. 論文標題 Guest Editor's Introduction: East Asia as a Method of Research and History Behind the publication of This Issue	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought & Culture	6. 最初と最後の頁 7-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 4
2. 論文標題 古代哲学をどう読むか レオ・シュトラウスとプラトンと私	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ひらく	6. 最初と最後の頁 89-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Shimoda	4. 巻 -
2. 論文標題 Reconsidering the Methodologies for the Study of Mahayana Sutras	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Buddha's Words and Their Interpretations	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 605
2. 論文標題 大西祝の批評主義から見る『哲学雑誌』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 哲学研究	6. 最初と最後の頁 50-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 142
2. 論文標題 浄めとしてのオリンピック エンペドクレスの奇跡	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 三田文学	6. 最初と最後の頁 196-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumi Yao	4. 巻 5
2. 論文標題 Talking Wittily with an Ill-Behaved Monk: On a Reference to the *Jetavanasutra in the Mulasarvastivada Vinaya	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Buddhism, Law & Society	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumi Yao	4. 巻 -
2. 論文標題 Traces of Incorporation: Some Examples of Samyukta-agama Sutras in the Mulasarvastivada Vinaya	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Research on the Samyuktagama	6. 最初と最後の頁 429-480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muller, A. Charles	4. 巻 11(2)
2. 論文標題 Review of Buddhist Apologetics in East Asia: Countering the Neo-Confucian Critiques in the Hufalun and the Yusok chirui non, by Uri Kaplan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Korean Religions	6. 最初と最後の頁 173-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 高岸輝	4. 巻 -
2. 論文標題 室町やまと絵のなかの「月次祭礼図屏風」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 「月次祭礼図屏風」の復元と研究 よみがえる室町京都のかがやき	6. 最初と最後の頁 113-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 -
2. 論文標題 「粉河観音縁起絵巻」七巻本の成立圏 足利將軍家の絵巻コレクションと南北朝合一前後の紀伊国をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国宝粉河寺縁起と粉河寺の歴史	6. 最初と最後の頁 207-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 -
2. 論文標題 十四世紀肖像の等身性と肖似性 等持院歴代足利將軍坐像の前提	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本美術のつくられ方 佐藤康宏先生の退職によせて	6. 最初と最後の頁 128-149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 700
2. 論文標題 美術史 / 日本史の境界と越境の可能性 展覧会・美術全集・デジタル画像	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 28-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 no.2020
2. 論文標題 日本中世絵巻における性差の描き分け - IIIF Curation Platformを活用したGM法による『遊行上人縁起絵巻』の様式分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 961
2. 論文標題 「融通念仏縁起絵巻」明徳版本の版行・摺写と表現	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学苑	6. 最初と最後の頁 330-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岸輝	4. 巻 -
2. 論文標題 中世絵巻の 作者 とその基盤 「春日権現験記絵巻」と古代宝蔵の再生をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 作者 とは何か 継承・占有・共同性	6. 最初と最後の頁 145-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船山徹	4. 巻 2
2. 論文標題 仏典の伝播と日本の経蔵	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本宗教史	6. 最初と最後の頁 146-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藏本龍介	4. 巻 85(4)
2. 論文標題 序(特集:社会を想像/創造する贈与:インド系宗教の現代的展開から)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 659-671
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藏本龍介	4. 巻 85(4)
2. 論文標題 「善行」が想像/創造する組織:ミャンマーのダバワ瞑想センターを事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 730-749
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 デジタルアーカイブにおけるテキスト検索を考える:みんなで翻刻サーチの構築を手がかりとして	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 デジタルアーカイブ学会誌	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24506/jsda.4.s1_s73	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 誰が何を知っておくべきなのか?デジタルアーカイブにおける技術の共有と知識の継承を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 デジタルアーカイブ学会誌	6. 最初と最後の頁 241-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24506/jsda.4.2_241	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小池俊希, 大向一輝, 鴻野知暁, 永崎研宣	4. 巻 2020-CH-123, no. 2
2. 論文標題 『日本語歴史コーパス』へのTEI適用に基づく諸本比較 『万葉集』における『読添えのモ』を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小風 綾乃, 大向一輝, 永崎研宣	4. 巻 2020-CH-123, no. 3
2. 論文標題 18世紀パリ王立科学アカデミー集会の出席会員分析に向けたデータ構築と可視化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 田村隆, 永崎研宣	4. 巻 2020-CH-124, no. 2
2. 論文標題 源氏物語本文研究支援システム『デジタル源氏物語』の開発におけるIIIF・TEIの活用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 要一郎, 永崎 研宣, 大向 一輝, 下田 正弘	4. 巻 2020-CH-124, no. 4
2. 論文標題 Pali Text Society版パーリ語文献を対象としたテキスト検索システムの構築	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 大向一輝, 下田正弘	4. 巻 2020-CH-124, no. 5
2. 論文標題 仏教研究におけるテキスト検索の現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 大向一輝, 下田正弘	4. 巻 no.2020
2. 論文標題 仏教文献研究のためのIIIFの活用における諸課題の解決に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金甫榮, 中村覚, 小風尚樹, 橋本雄太, 井上さやか, 茂原暢, 永崎研宣	4. 巻 no.2020
2. 論文標題 TEIを用いた『渋沢栄一伝記資料』テキストデータの再構築	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川潤, 永崎研宣, 中村覚, 大向一輝	4. 巻 no.2020
2. 論文標題 時間的文脈情報を含む社会ネットワーク記述のためのデータモデル設計と一次史料を用いたデータ構築の 実践: カエサル『内乱記』を事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 215-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊要一郎, 永崎研宣, 朴賢珍, 王一凡, 村瀬友洋, 渡邊眞儀, 大向一輝, 下田正弘	4. 巻 no. 2020
2. 論文標題 大正新脩大蔵經の構造的記述に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 61-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 45
2. 論文標題 仏教から見たAI・ロボットをめぐる諸問題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 叡山学院彙報	6. 最初と最後の頁 27-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 700
2. 論文標題 仏教学と人文情報学を学ぶ一研究者の立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 70-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 1
2. 論文標題 AI・仏性・倫理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 未来哲学	6. 最初と最後の頁 169-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 19
2. 論文標題 オンライン学会事例報告 日本印度学仏教学会 第71回学術大会：参加者の立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 124-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 -
2. 論文標題 鎌倉時代の仏教	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界哲学史4 中世 個人の覚醒	6. 最初と最後の頁 205-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 -
2. 論文標題 瞑想のダイナミズムー初期仏教から現代へ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 シリーズ実践仏教	6. 最初と最後の頁 2-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 94別冊
2. 論文標題 禅観経典に見る心の負の反応に対する対処法	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 169-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村清孝・袁翰顕量	4. 巻 59
2. 論文標題 東京大学仏教青年会創立百周年記念対談 東大仏青の百年	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 仏教文化	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 59
2. 論文標題 ベトナム調査記	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 仏教文化	6. 最初と最後の頁 23-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋晃一	4. 巻 71
2. 論文標題 唯識思想における他者	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 96-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11439/philosophy.2020.96	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋晃一	4. 巻 -
2. 論文標題 『阿毘達磨集論』における「アビダルマ」とは何か 『カダム全書』所収資料を手掛かりに	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『阿毘達磨集論』の伝承 インドからチベットへ、そして過去から未来へ	6. 最初と最後の頁 13-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 齋藤希史	4. 巻 2019(4)
2. 論文標題 もうひとつの興味：成島柳北の漢詩から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学会会報	6. 最初と最後の頁 66-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 14
2. 論文標題 アリストテレスのプラトン「イデア論」規定 『形而上学』A6, 987b7-10再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 フィロロギカ	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 13
2. 論文標題 ハイデガーとプラトンの対決	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heidegger-Forum	6. 最初と最後の頁 77-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大向一輝	4. 巻 13(4)
2. 論文標題 SNSの進展	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 電子情報通信学会通信ソサイエティマガジン	6. 最初と最後の頁 252-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/bplus.13.252	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大向一輝	4. 巻 27
2. 論文標題 すべてがQになる：ウェブにおける「表現」と「対象」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ライブラリー・リソース・ガイド	6. 最初と最後の頁 102-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 師 茂樹, 上杉 智英	4. 巻 52
2. 論文標題 花園大学情報センター（図書館）・今津文庫資料の調査報告：大乘起信論・大乘經典写本断簡を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 花園大学文学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 87-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Moro, Shigeki	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 Metalogic in East Asia: Discussion on the Antinomic Reason (*viruddhavyabhicarin) in P' an piryang non	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought & Culture	6. 最初と最後の頁 69-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.16893/IJBTC.2019.06.29.2.69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 -
2. 論文標題 傳弘法大師・草書寫本断簡群について：圓測『成唯識論疏』断簡を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 [東アジアに流伝した韓国仏教文献と思想]	6. 最初と最後の頁 181-219
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋晃一	4. 巻 71
2. 論文標題 唯識思想における他者	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 96-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11439/philosophy.2020.96	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Funayama, Toru	4. 巻 117
2. 論文標題 The Study of Chinese Buddhist Thought in Japan: 'Subcommentary' and Its Japanese and Chinese Equivalents	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Asiatica	6. 最初と最後の頁 41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muller, A. Charles	4. 巻 -
2. 論文標題 Philosophical Bases of the Goryeo-Joseon Confucian-Buddhist Confrontation: The Works of Jeong Dojeon (Sambong) and Hamheo Deuktong (Gihwa)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dao Companion to Korean Confucian Philosophy	6. 最初と最後の頁 285-309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-90-481-2933-1_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muller, A. Charles	4. 巻 -
2. 論文標題 The Digital Dictionary of Buddhism and CJKV-English Dictionary: A Brief History	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Digital Humanities and Buddhism: An Introduction	6. 最初と最後の頁 143-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/9783110519082-009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Kokaze, Kiyonori Nagasaki, Makoto Goto, Yuta Hashimoto, A. Charles Muller and Masahiro Shimoda	4. 巻 12
2. 論文標題 Toward a Model for Marking up Non-SI Units and Measurements	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Text Encoding Initiative	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/jtei.1996	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小風尚樹, 中村覚, 永崎研宣	4. 巻 2019
2. 論文標題 構造化記述された財務記録史料データの分析手法の開発: イギリスの船舶解体業を事例に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じんもんこん2019論文集	6. 最初と最後の頁 183-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 佐治奈通子, 永崎研宣	4. 巻 2019
2. 論文標題 TEI とIIIF をベースとしたオン/オフライン併合型史料研究支援システムの開発 - オスマン・トルコ語文書群を対象として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じんもんこん2019論文集	6. 最初と最後の頁 293-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 下田正弘	4. 巻 68(2)
2. 論文標題 「正典概念とインド仏教史」を再考する	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 (64)-(72)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 下田正弘	4. 巻 34
2. 論文標題 デジタル化時代の人文学と中国研究 学術インフラの整備と国際学術ネットワークへの貢献に向けて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国 社会と文化	6. 最初と最後の頁 5-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船山徹	4. 巻 -
2. 論文標題 文字検索のさらなる地平に向けて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デジタル学術空間の作り方：仏教学から提起する次世代人文学のモデル	6. 最初と最後の頁 169-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井清純	4. 巻 -
2. 論文標題 引用出典検索・読解とデジタル化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デジタル学術空間の作り方：仏教学から提起する次世代人文学のモデル	6. 最初と最後の頁 253-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 袁翰顕量	4. 巻 -
2. 論文標題 中世の手書き写本のOCR翻刻テスト報告	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デジタル学術空間の作り方：仏教学から提起する次世代人文学のモデル	6. 最初と最後の頁 263-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮崎泉	4. 巻 -
2. 論文標題 電子テキストの有効利用に関する雑感	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デジタル学術空間の作り方：仏教学から提起する次世代人文学のモデル	6. 最初と最後の頁 297-310
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 苔米地等流	4. 巻 -
2. 論文標題 サンスクリット文献電子データについての雑想	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デジタル学術空間の作り方：仏教学から提起する次世代人文学のモデル	6. 最初と最後の頁 311-315
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藏本龍介	4. 巻 -
2. 論文標題 開発と逃避の狭間で：ミャンマーにおける出家者の開発実践の変遷と行方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宗教と開発の人類学	6. 最初と最後の頁 99-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藏本龍介	4. 巻 -
2. 論文標題 仏教を結節点とした『つながり』と変容	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 転換期のミャンマーを生きる：「統制」と公共性の人類学	6. 最初と最後の頁 99-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計122件（うち招待講演 69件 / うち国際学会 57件）

1. 発表者名 Gudrun Melzer and Fumi Yao
2. 発表標題 Preliminary Remarks on the Manuscript of the Vinayoddanagathas in the Schoyen Collection
3. 学会等名 The 19th Congress of the International Association of Buddhist Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 八尾史
2. 発表標題 根本説一切有部律とKalpanamanditika Drstantapankti
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第73回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 対話する身体にむけて 板橋勇仁『こわばる身体がほどけるとき』を読む
3. 学会等名 立正大学哲学会2022年度大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 真理の共同探求としての対話 古代ギリシアにおける対話の哲学の形成
3. 学会等名 日本倫理学会第73回大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 田辺元とギリシア哲学 プラトン弁証法としての「種の論理」
3. 学会等名 中山大学哲学系講演会「朝向世界的日本哲学」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Similarities between the Sophist and the Philosopher
3. 学会等名 IPS Symposium Platonicum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 言語・概念分析の系譜
3. 学会等名 日本哲学会第81回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 聖典を文献学的に読むことの両義性について
3. 学会等名 龍谷教学会議第56回大会 シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 Nico Nolden and Eugen Pfister. "Gaming and Digital Public History"
3. 学会等名 第6回関西デジタルヒストリー研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 袁輪顕量
2. 発表標題 止観からたどる仏教－釈尊から日蓮聖人へ－
3. 学会等名 日蓮宗全国布教師連合会全国大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 袁輪顕量
2. 発表標題 仏教の瞑想とマインドフルネス
3. 学会等名 日本wholePersonCare学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 袁輪顕量
2. 発表標題 One aspect of the Cultural Heritage in Japan: Influence of the Buddhism on Japanese Mind
3. 学会等名 An International Seminar, Excavating Buddhist Cultural Heritage Through Pali Narratives, Institute of Language and Research(ILSR) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋晃一
2. 発表標題 『菩薩地』『住品』におけるハタヨーガと思釈
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第73回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 齋藤希史
2. 発表標題 遐想と山水 東晋期を中心に
3. 学会等名 第66回国際東方学会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hashimoto, Yuta; Kim, Boyoung; Nakamura, Satoru; Kokaze, Naoki; Inoue, Sayaka; Shigehara, Toru; Nagasaki, Kiyonori
2. 発表標題 Crowdsourcing as Collaborative Learning: A Participatory Annotation Project for the Photographic Materials of Shibusawa Eiichi
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2022（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ogawa, Jun; Nakamura, Satoru; Nagasaki, Kiyonori; Ohmukai, Ikki
2. 発表標題 Application for visualizing and analyzing the historical network with context-centric model
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2022（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hara, Shoko; Ohmukai, Ikki; Nagasaki, Kiyonori; Takagi, Soichiro
2. 発表標題 Analysis of Exhibition Composition Using Co-occurrence Network Analysis
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki, Satoru Nakamura, Kazuhiro Okada
2. 発表標題 Building Interfaces for East Asian/Japanese TEI data
3. 学会等名 TEI conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Jun Ogawa, Kiyonori Nagasaki, Ikki Ohmukai, Yusuke Nakamura, Asanobu Kitamoto
2. 発表標題 Text as Object: Encoding the data for 3D annotation in TEI
3. 学会等名 TEI conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yifan Wang, Kiyonori Nagasaki, Ikki Ohmukai, Masahiro Shimoda
2. 発表標題 Multilingualism and multiscrptism in TEI publishing: DH2022
3. 学会等名 TEI conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 新技術を活用した新たな図書館サービスの可能性
3. 学会等名 令和3年度大学図書館長期研修（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Access to Digital Tools, Resources, and Methods for Japanese Studies
3. 学会等名 18. Deutschsprachigen Japanologentag（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 初めてのXML
3. 学会等名 英語コーパス学会ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 デジタル時代における学術資産の社会還元と継承に向けて
3. 学会等名 大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 月例ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 デジタル時代の日本語文化圏の人文学が英文学に期待すること
3. 学会等名 日本英文学会中国四国支部第74回大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Utilization for Digital Images for Buddhist Studies
3. 学会等名 Workshop & Symposium: Perspectives of Digital Humanities in the Field of Buddhist Studies, Universitat Hamburg（招待講演） （国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣、王一凡
2. 発表標題 仏典文字の標準化におけるSATの取組み
3. 学会等名 シンポジウム「古辞書データ共有と拡張」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 A history and perspective of the SAT Buddhist database project
3. 学会等名 Workshop "Perspectives on Digital Humanities in Japan and Germany", Universitat Trier（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永崎研宣、幾浦裕之、藤原静香
2. 発表標題 古典本文をWEBに載せる TEIガイドラインに準拠したテキストデータ構築
3. 学会等名 国際シンポジウム 古典の再生   The Revival of the Classics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 デジタル人文学の現状と課題
3. 学会等名 第24回京都大学情報学シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永崎 研宣、菊池 信彦、乾 善彦
2. 発表標題 万葉集伝本研究のDX化に向けて：関西大学所蔵廣瀬本万葉集を事例に
3. 学会等名 KU-ORCAS研究集会 -言語交渉研究班-【言語研究とデジタルヒューマニティーズ】(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学とコンピュータ、その過去・未来・現在
3. 学会等名 学術講演会「デジタル・ヒューマニティーズ最前線」(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Content Curation with IIIF
3. 学会等名 Beyond Covid: Preparing the Next Generation of Japanese Studies Librarians Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 DH for East Asian Studies in Japan Plenary: Overview of Digital Humanities for East Asian Studies
3. 学会等名 Tools of the Trade conference, Harvard University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 A History and Perspective of the SAT, A Buddhist Database Project, Exemplary Projects: Buddhism
3. 学会等名 Tools of the Trade conference, Harvard University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学における研究データの現状と課題
3. 学会等名 科学データ研究会 + WDS国内シンポジウム (第10回) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Activities of the International Institute for Digital Humanities、Center Sessions: Japan
3. 学会等名 Tools of the Trade conference、Harvard University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Digital Humanities in Japanese Studies
3. 学会等名 2023 Digital Japanese Studies Symposium、Digital Humanities as New Paradigm on Japanese Studies in Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 袁翰顯量
2. 発表標題 古代法相宗僧侶の修行 道昭・行基・徳一を中心にー
3. 学会等名 日本印度学佛教学会 (第72回学術大会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 袁翰顯量
2. 発表標題 The Development of the practice in the Buddhism
3. 学会等名 Guangang University Symposium(Dec. 3) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 瞑想でたどる仏教 心と体を観察する
3. 学会等名 駒澤女子大学・成道会記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 最澄の考える菩薩の修行道
3. 学会等名 龍谷大学世界仏教文化研究センター主催 伝教大師最澄遷化1200年記念国際シンポジウム「伝教大師最澄に学ぶ 現代における真実を求める心」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 マインドフルネスと慈悲
3. 学会等名 日本マインドフルネス学会第8回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Towards an Ecosystem for Buddhist Studies in the Digital Era, International Webinar on Digital Humanities
3. 学会等名 GOLDEN JUBILEE CELEBRATIONS IN SESHADRIPURAM EVENING DEGREE COLLEGE（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学におけるデジタル技術活用の現在：デジタル・ヒューマニティーズの動向を通じて
3. 学会等名 新潟大学人文学部主催講演会「デジタルヒューマニティーズ：人文学とデータサイエンスの融合とその未来」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 東アジア人文学研究データの構造化とTEIの現在
3. 学会等名 シンポジウム「人文情報学による仏教知識構造化の新潮流」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 ADHO, JADH and Asian DH
3. 学会等名 DHARTI2022 conference, DHARTI (Digital Humanities Alliance for Research and Teaching Innovations) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoichiro Watanabe, Kiyonori Nagasaki, Hyunjin Park, Yifan Wang, Tomohiro Murase, Masayoshi Watanabe, Norimichi Yajima, Yoshihiro Sato, Yui Sakuma, Xinxing Yu, Shumpei Katakura, Masahiro Shimoda, Ikki Ohmukai
2. 発表標題 Toward a Structured Description of the Footnotes of the Taisho Tripitaka
3. 学会等名 TEI Conference and Members' Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Susanna Alles-Torrent, Hugh Cayless, Gimena del Rio Riande, Luis Meneses, Kiyonori Nagasaki, Martina Scholger
2. 発表標題 I18n: Building a TEI Multilingual Community
3. 学会等名 TEI Conference and Members' Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Japanese Philosophers on Plato's Ideas
3. 学会等名 London Lectures 2021: Expanding Horizons (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 ギリシア哲学が直面した運命と偶然 ソフォクレス『オイディプス王』とアリストテレス『詩学』を中心に
3. 学会等名 比較思想学会第48回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 ソフィストたちのオリムピック 宗教・文化・政治的意義
3. 学会等名 西洋古典学会第71回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 船山徹
2. 発表標題 『今昔物語集』巻四「龍樹・提婆二菩薩伝法語」における日本化の諸相
3. 学会等名 説話文学研究（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高橋晃一
2. 発表標題 Vastu and Vikalpa in the Early Yogacara Philosophy
3. 学会等名 “認知与心性” 工作坊（「認知と心」復旦大学哲学学院主催ワークショップ）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 八尾史
2. 発表標題 瞻部洲はインド亜大陸か：求法僧の記述を中心に
3. 学会等名 対法雑誌刊行会主催シンポジウム「東アジアにおける仏教の宇宙観」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 仏教から見たビッグデータ社会の問題
3. 学会等名 日本宗教学会 第80回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 人文情報学による仏教知識構造化の新潮流
3. 学会等名 シンポジウム「人文情報学による仏教知識構造化の新潮流」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 「痕跡、代補、授記：「三宝」再考」
3. 学会等名 EAAシンポジウム「仏教と哲学の対話」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下田正弘, 永崎研宣
2. 発表標題 デジタル時代におけるアジア研究からの発信 仏教学を事例として
3. 学会等名 東洋学・アジア研究連絡協議会シンポジウム「研究環境の変貌と東洋学・アジア研究」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 聖典としての仏教 法華経へ、そして法華経から
3. 学会等名 東洋哲学研究所「法華経展とその世界」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 プラトン『パイドン』はどう読まれたか、どう読むべきか
3. 学会等名 西日本哲学会第71回大会シンポジウム「魂の不死をめぐる系譜 古代哲学と近代哲学のダイアローグ」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 宗教的多様性の時代に求められる倫理 現象学的考察
3. 学会等名 日本宗教学会第75回学術大会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Images and Imagination in Plato's Republic and Sophist
3. 学会等名 The 3rd Asia Regional Meeting of the International Plato Society(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Socrates among the sophists: reconsidering his position in the fifth century BC
3. 学会等名 ISSS (International Society for Socratic Studies)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八尾 史
2. 発表標題 根本説一切有部律研究の現在
3. 学会等名 駒澤大学仏教学会2020年度第2回研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高岸輝
2. 発表標題 中世絵巻に描かれた霊地と国土 王者と聖者の見た風景
3. 学会等名 公開講座 続・古典を読む - 歴史と文学 - (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 KURAMOTO, Ryosuke
2. 発表標題 Attempts at “Homelessness”: the nonreciprocal relationship between monks and lay people in modern Myanmar
3. 学会等名 AAS (Association for Asian Studies) 2020 Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Cayless, Hugh; Scholger, Martina; Bermudez Sabel, Helena; Meneses, Luis; del Rio Riande, Gimena; Nagasaki, Kiyonori
2. 発表標題 Communicating the TEI Across Linguistic and Cultural Boundaries
3. 学会等名 Digital Humanities 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nagasaki, Kiyonori; Ohmukai, Ikki; Tomabechi, Toru; Shimoda, Masahiro
2. 発表標題 An Improvement of Collaborative Digital Scholarly Edition with IIIF
3. 学会等名 Digital Humanities 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Buddhist Studies with Open Science: An Attempt in Asian Studies
3. 学会等名 Asian Studies in the Era of Open Science AAS-in-Asia 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Leveraging IIIF for Buddhist Studies
3. 学会等名 2020 Korea-Japan Symposium on Digital Humanities "Zooming-in and Zooming-out Principles and Methods in Digital Humanities" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 コンテンツを起点とする情報の組織化の可能性
3. 学会等名 日本図書館研究会情報組織化グループ月例研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 田村隆, 中村覚, 中村美里, 永崎研宣
2. 発表標題 「デジタル源氏物語」の構築と展開
3. 学会等名 第6回日本語の歴史的典籍国際研究集会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 SAT大蔵経データベースにおけるIIIFとTEIの活用
3. 学会等名 協働型アジア研究オンラインセミナー「IIIFに準拠した画像公開の方法とTEIとの連携」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学とデジタル人文学 教育をめぐる接点
3. 学会等名 京都大学文学研科公開シンポジウム「デジタル人文学の世界へ」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 morogram: Background, History, and Purpose of a Tool for East Asian Text Analysis
3. 学会等名 第1回ワークショップ「古代文献の言語分析から読み解く社会背景のダイナミズム」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 人工物としてのテキスト：『仏教とエクリチュール』の提示する新しい方法論とデジタル・ヒューマニティーズとの接点
3. 学会等名 シンポジウム「人文学と仏教学 学知構築の過程を照らす」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 仏教から見たAI・ロボットをめぐる諸問題
3. 学会等名 叡山学院公開講座（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 日本文化は「テクノ・アニミズム」か
3. 学会等名 日本宗教学会 第79回学術大会・パネル「AIと宗教：AI・ロボットの日本文化における受容を考える」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 デジタル・ヒューマニティーズにおいて研究対象の範囲を限定することの必然性と方法についての予備的考察
3. 学会等名 第2回関西デジタルヒストリー研究会（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 天台の止観における負の側面への対処法とその起源について
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第71回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 禅観経典に見る心の負の反応に対する対処法
3. 学会等名 日本宗教学会第79回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 How to deal with the negative mind functions which arise in the Mindfulness viewing from the Chinese text
3. 学会等名 Symposium, Mindfulness and Human Cognition, A Joint Research Project of Buddhist studies, Psychology, and Neuroscience, supported by JSPS KAKENHI Grant Number 20K20323 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 袁翰顕量
2. 発表標題 秘密の教え—最澄と空海の伝えたもの
3. 学会等名 公益財団法人J東海生涯学習財団 講座 歴史の歩き方 日本を見つける知の探訪 第85回空海と最澄 日本仏教の成立を導いた開祖たちの真実(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 袁翰顯量
2. 発表標題 法華信仰と戒律
3. 学会等名 成田山仏教研究所 仏教文化講座令和二年度第7講(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Chifumi Nishioka and Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Log Analysis Methodology to Understanding Detailed I1IF Image Usage
3. 学会等名 I1IF Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Okada, Satoru Nakamura and Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 An Encoding Strategic Proposal of “Ruby” Texts: Examples from Japanese Texts
3. 学会等名 TEI Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Toward an Ecosystem for a Digital Research Environment for Buddhist Studies
3. 学会等名 International Conference on Buddhist Canons (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Recent Situation of Copyright Law and Other Licensing Issues for DH in Japan, Copyright and Humanities Research: A Global Perspective, DARIAH Working Group ELDAH (Ethics and Legality in Digital Arts and Humanities) and the CLARIN CLIC (CLARIN Legal and Ethical Issues Committee)
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2019 Pre-Conference Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Toward a Productive Future under the New Copyright Law in Japan
3. 学会等名 North American Coordinating Council on Japanese Library Resources (NCC) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki and Masahiro Shimoda
2. 発表標題 Alignment of Full Text Database with IIIF Images
3. 学会等名 IIIF Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki, A. Charles Muller, Toru Tomabechi, and Masahiro Shimoda
2. 発表標題 A Collaborative System for Digital Research Environment via IIIF
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoki Kokaze, Kiyonori Nagasaki, Yuta Hashimoto, Ayano Kokaze, and Makoto Goto
2. 発表標題 Towards Constructing An Ecosystem for Digital Scholarly Editions of East Asian Historical Sources: With the Focus on the TEI-Markup of the Engi-Shiki
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishioka Chifumi and Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Log Analysis Method towards Understanding Detailed IIIF Image Usage
3. 学会等名 Digital Humanities Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noboru Notomi
2. 発表標題 "Likeness" in Plato's Sophist and Parmenides
3. 学会等名 TORCH 'Image and Thought' Network Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Noboru Notomi
2. 発表標題 Protagoras' On Gods: Its Context and an Open Tradition
3. 学会等名 Princeton Ancient Philosophy Colloquium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noboru Notomi
2. 発表標題 Homonymy and Likeness in Plato's Parmenides
3. 学会等名 The 11th Symposium Platicum (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noboru Notomi
2. 発表標題 Protagoras and the Sophists on Truth
3. 学会等名 Conferece: Truth and Relativism in Ancient Philosophy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosuke Kuramoto
2. 発表標題 How Can We Envision: The Anthropology of Buddhism?
3. 学会等名 SEASIA (Southeast Asian Studies in Asia) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoru Nakamura and Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 IIIF Discovery in Japan
3. 学会等名 IIIF Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoru Nakamura, Kazuhiro Okada, Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 An Attempt of Dissemination of TEI in a TEI-underdeveloped country: Activities of the SIG EAJ
3. 学会等名 TEI Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeki Moro
2. 発表標題 Maintainers of a Destroying World: A Doctrinal Discussion on Cheng weishi lun in the Japanese Rongi Tradition
3. 学会等名 2019 Annual Meeting of the American Academy of Religion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学はどこに向かうのか? - デジタルがもたらす可能性と課題
3. 学会等名 Galeシンポジウム2020「デジタル人文学への誘い 第2回」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 IIIFについての最新情報
3. 学会等名 異分野融合による「総合書物学」の構築:文化・情報の結節点としての図像 IIIF Curation Viewer チュートリアル(招待講演)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 デジタル環境を活かした文字画像共有システムの構築
3. 学会等名 漢デジ2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 Text Encoding Initiativeのご紹介
3. 学会等名 学術XML推進協議会第8回総会・講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 デジタルアーカイブを取り巻く最近の状況
3. 学会等名 第121回人文科学とコンピュータ研究会発表会 企画セッション「デジタルアーカイブ構築をとりまく最前線」 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 仏教の智慧を開く - デジタルアーカイブの実際 -
3. 学会等名 公開講座「仏教の智慧を開く - 浄土宗大本山増上寺所蔵宋版大蔵経デジタルアーカイブ化 - 」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 国際的なWeb画像の相互運用の枠組みIIIF
3. 学会等名 情報発信の新たな展開に向けて～デジタルアーカイブの構築とIIIF～
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 デジタル学術空間と宗教研究 AAR Guidelinesへの応答
3. 学会等名 日本宗教学会第78回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 正典概念とインド仏教史を再考する 直線的史観からの解放
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下田正弘
2. 発表標題 浄土宗と大蔵経 -増上寺三大蔵のデジタルアーカイブの意義-
3. 学会等名 公開講座「仏教の智慧を開く -浄土宗大本山増上寺所蔵宋版大蔵経デジタルアーカイブ化-」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 漢文古典文献を分析するためのツールの普及に向けた取り組み
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 第22回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 [東アジア唯識における『涅槃経』の扱い: 基と徳一を中心に]
3. 学会等名 第八屆中日佛学会_ (第八回中日仏学会議) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 森政弘の仏教思想とAI・ロボット開発
3. 学会等名 日本宗教学会2019年度学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 九州国立博物館蔵・文軌『因明入正理論疏』巻一写本について
3. 学会等名 「インド論理学と東アジアの因明を架橋する『因明正理門論』の再検討」科研プロジェクト第3回研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 奈良・平安時代の法相唯識に関する唐決
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 傳弘法大師・草書寫本斷簡群について：圓測『成唯識論疏』斷簡を中心に
3. 学会等名 [東アジアに流伝した韓国仏教文献と思想] (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大向一輝
2. 発表標題 オープンデータと人文情報学
3. 学会等名 情報処理学会第122回人文科学とコンピュータ研究会発表会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 明治思想と西洋哲学
3. 学会等名 東亜人文社會科學研究的地平線 人物、文化、思想、海洋與經濟的交匯 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 大西祝の批評主義から見る『哲学雑誌』
3. 学会等名 第36回日本哲学史フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤希史
2. 発表標題 文明の翻訳：近代東アジアにおける「漢」と「洋」
3. 学会等名 第20回延世大学校近代韓国学研究所国際学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計34件

1. 著者名 藏本龍介	4. 発行年 2023年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 350
3. 書名 宗教組織の人類学：宗教はいかに世界を想像/創造しているか	

1. 著者名 船山徹	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 552
3. 書名 増補改訂版 東アジア仏教の生活規則 梵網經 最古の形と発展の歴史	

1. 著者名 高岸輝	4. 発行年 2023年
2. 出版社 高松市歴史資料館	5. 総ページ数 56
3. 書名 万物流転 語られるイメージと時間	

1. 著者名 納富信留・明星聖子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 306
3. 書名 フェイク・スペクトラム 文学における 嘘 の諸相	

1. 著者名 西田太郎 [著] 齋藤希史[校訂]田口一郎[校訂]	4. 発行年 2023年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 733
3. 書名 漢文の語法	

1. 著者名 李成市[編] 齋藤希史[分担執筆] 他	4. 発行年 2023年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 692
3. 書名 アジア人物史 第2巻 世界宗教圏の誕生と割拠する東アジア	

1. 著者名 永崎研宣ほか[編著]	4. 発行年 2022年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 424
3. 書名 人文学のためのテキストデータ構築入門：TEIガイドラインに準拠した取り組みにむけて	

1. 著者名 袁翰顕量	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 瞑想でたどる仏教 心と身体を観察する(NHK心の時代 宗教・人生)	

1. 著者名 一般財団法人人文情報学研究所監修	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 495
3. 書名 欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識	

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2022年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 253
3. 書名 西洋哲学の根源	

1. 著者名 齋藤希史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 漢文ノート：文学のありかを探る	

1. 著者名 齋藤希史, Defrance Arthur, Robert Jean-Noel	4. 発行年 2021年
2. 出版社 College de France, Institut des hautes etudes japonaises	5. 総ページ数 134
3. 書名 Qu'est-ce que le monde sinographique? : Quatre conferences du Professeur Saito Mareshi au College de France	

1. 著者名 辻 惟雄、アン・ニシムラ・モース、高岸 輝、公益財団法人 鹿島美術財団	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央公論美術出版	5. 総ページ数 1008
3. 書名 ボストン美術館日本美術総合調査図録	

1. 著者名 高岸 輝ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 248
3. 書名 文化資源学	



1. 著者名 高岸 輝ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Faton	5. 総ページ数 144
3. 書名 Art et Diplomatie: Oeuvres Japonaises du Chateau de Fontainebleau	

1. 著者名 船山 徹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 法藏館	5. 総ページ数 268
3. 書名 婆藪槃豆伝	

1. 著者名 師 茂樹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 248
3. 書名 最澄と徳一 仏教史上最大の対決	

1. 著者名 下田正弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 352
3. 書名 仏教とエクリチュールー大乘經典の起源と形成	

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 750
3. 書名 ギリシア哲学史	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 396
3. 書名 世界哲学史 別巻 未来をひらく	

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2020年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 190
3. 書名 対話の技法	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 318
3. 書名 世界哲学史8 現代 グローバル時代の知	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 302
3. 書名 世界哲学史7 近代 II 自由と歴史的発展	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 302
3. 書名 世界哲学史6 近代 I 啓蒙と人間感情論	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 334
3. 書名 世界哲学史5 中世 III パロックの哲学	

1. 著者名 伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 274
3. 書名 世界哲学史4 中世 II 個人の覚醒	

1. 著者名 齋藤希史・盛浩偉譯	4. 発行年 2020年
2. 出版社 群學出版	5. 総ページ数 424
3. 書名 「漢文脈」在近代：中國清末與日本明治重疊的文學圈	

1. 著者名 Mareshi Saito; Ross King(ed.), Christina Laffin(ed.)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Brill Academic Pub	5. 総ページ数 231
3. 書名 Kanbunmyaku : The Literary Sinitic Context and the Birth of Modern Japanese	

1. 著者名 下田 正弘、永崎 研宣	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 384
3. 書名 デジタル学術空間の作り方	

1. 著者名 伊藤 邦武、山内 志朗、中島 隆博、納富 信留	4. 発行年 2020年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 世界哲学史 2	

1. 著者名 品田 悦一、齋藤 希史	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 240
3. 書名 「国書」の起源	

1. 著者名 納富 信留	4. 発行年 2019年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 プラトン哲学への旅	

1. 著者名 プラトン、納富信留	4. 発行年 2019年
2. 出版社 光文社	5. 総ページ数 336
3. 書名 パイドン	

1. 著者名 高岸 輝	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 444
3. 書名 中世やまと絵史論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

SAT大正新脩大藏經テキストデータベース  
<https://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/>  
 Digital 法實義林 (Hobogirin)  
<https://tripitaka.l.u-tokyo.ac.jp/hbgrn/>  
 SAT IIIF Image Server  
<https://dzkings.l.u-tokyo.ac.jp/omekas/s/sat-iiif/page/welcome>  
 東京大学大学院人文社会系研究科附属次世代人文情報開発センター人文情報学部門のウェブサイト  
<https://dh.l.u-tokyo.ac.jp/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	袁輪 顕量  (Minowa Kenryo)  (30261134)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授   (12601)	
研究分担者	永崎 研宣  (Nagasaki Kiyonori)  (30343429)	一般財団法人人文情報学研究所・人文情報学研究部門・主席 研究員   (82683)	
研究分担者	大向 一輝  (Ohmukai Ikki)  (30413925)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授   (12601)	
研究分担者	八尾 史  (Yao Fumi)  (30624788)	駒澤大学・仏教学部・講師   (32617)	
研究分担者	宮崎 泉  (Miyazaki Izumi)  (40314166)	京都大学・文学研究科・教授   (14301)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	納富 信留  (Notomi Noburu)  (50294848)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授    (12601)	
研究分担者	Muller Albert  (Muller Albert)  (60265527)	武蔵野大学・経営学部・教授    (32680)	
研究分担者	苔米地 等流  (Tomabechi Toru)  (60601680)	一般財団法人人情報学研究所・仏典写本研究部門・主席研究員    (82683)	
研究分担者	藏本 龍介  (Kuramoto Ryosuke)  (60735091)	東京大学・東洋文化研究所・准教授    (12601)	
研究分担者	船山 徹  (Funayama Toru)  (70209154)	京都大学・人文科学研究所・教授    (14301)	
研究分担者	高橋 晃一  (Takahashi Koichi)  (70345239)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授    (12601)	
研究分担者	師 茂樹  (Moro Shigeki)  (70351294)	花園大学・文学部・教授    (34313)	
研究分担者	齋藤 希史  (Saito Mareshi)  (80235077)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授    (12601)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	高岸 輝  (Takagishi Akira)  (80416263)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授    (12601)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 シンポジウム「人文情報学による仏教知識構造化の新潮流」	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 Digital Humanities 2022: Responding to Asian Diversity	開催年 2022年～2022年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関